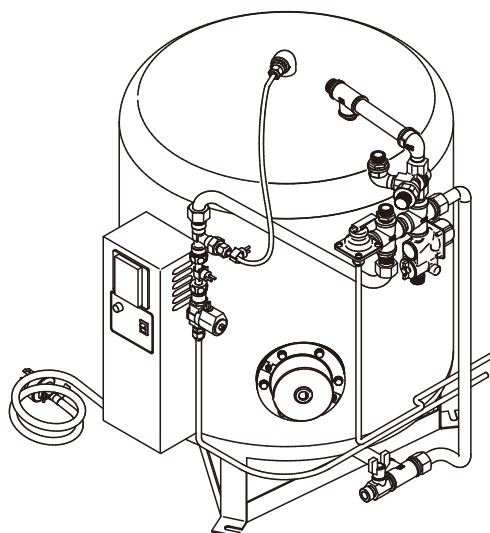


工事要領・取扱説明書

製品名：飲用洗物両用電気給湯器

型 式：ES-80DW2BR/L(3)



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
（この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、
弊社は一切責任を負いません。）

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
ES-DW2Bについて	5
各部名称とはたらき	5
仕様一覧	6
工事要領	8
施工前にご確認ください	9
1. 部品の確認	9
2. 設置場所の確認	10
施工する	11
1. 設置工事	11
2. 配管工事	12
3. 電気工事	15
4. 施工後の確認	15
試運転を行う	16
1. 給湯器に給水する	16
2. 試運転を行う	18
3. 試運転後の確認	20
取扱説明	22
使用方法	23
1. 使用前の準備と確認	24
2. 運転する	24
3. 出湯する	26
長期間使用しないときは(排水の方法)	27
お手入れの方法	29
保守点検項目と実施の目安	29
逃し弁の動作確認	30
間欠エア抜き弁の動作確認	32
こんなときは	34
管理技術者の方のみ ストレーナーの清掃	36
管理技術者の方のみ リセットの方法①	38
管理技術者の方のみ リセットの方法②	39
アフターサービス	40
消耗品の定期交換について	40
修理をご依頼の際には	40
補修用性能部品について	40

共通項目

安全上のご注意

本書には、お客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

 **警告** この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

 **注意** この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左図の場合は『高温注意』という意味です。)



○の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
○の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項：必ずお守りください

 警告	
	アース(D種接地) 工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
	電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電の時に感電するおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、ケガの原因となります。
	屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。
	設置時およびリセット操作時以外は電装ケースを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	湿気の多い場所や浴室には設置、使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。

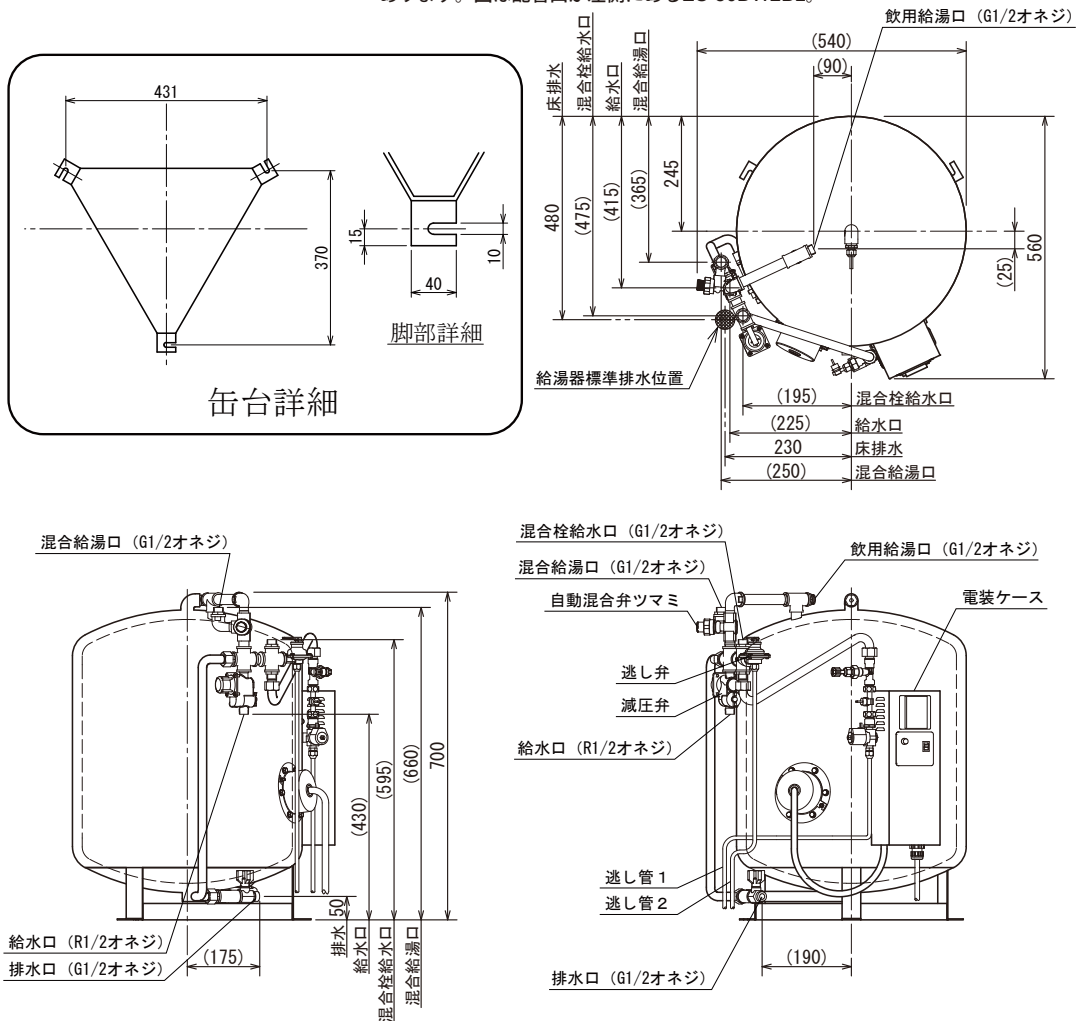
⚠警告	
	逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	給湯器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 水漏れが起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	給湯器の満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。 故障の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	逃し管はかならず下り勾配で取り付けてください。 膨張水が逆流するおそれがあります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。
	定期的に間欠エア抜き弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。 タンクや配管が破損して、やけどしたり漏水するおそれがあります。
	貯湯温度が 80℃未満の場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

ES-DW2Bについて

イトミックのES-80DW2Bは95℃の沸かし上げを行う床置用の貯湯式電気給湯器です。

各部名称とはたらき ※ ES-DW2Bは配管口の向きにより型番にL(左)もしくはR(右)がつきます。配管口以外の仕様は共通です。本誌ではLおよびRの表記を省略する場合があります。図は配管口が左側にあるES-80DW2BL。



名 称	説 明
電装ケース	ES-DW2B型は『省エネ温調タイマー』がついており、湯温設定、タイマー運転設定、電源のON/OFFなど各種操作、設定が行えます。(詳細は付属の取扱説明書をご参照ください。)
逃し弁	タンク内の圧力を97kPa以下に保持します。(テストレバー付き) 沸かし上げ中は、逃し管 2から膨張水を排出します。
減圧弁(逆止機構内蔵)	一次側給水の減圧(80kPa)と逆流防止をします。
飲用給湯口	ここから約 95℃の飲料用としてお使いいただける熱湯を給湯します。
混合給湯口	ここから約 45℃の洗い物用としてお使いいただけるお湯を給湯します。
混合栓給水口	混合給湯口と同圧の水を給水します。
給水口	給水を接続します。
自動混合弁ツマミ	コインなどで回すことで混合給湯口からの出湯温度を調節することができます。
逃し管 1 (間欠エア抜き弁用)	自動運転中 30分ごとにタンク内の空気や水蒸気を排出します。(必ず接続する必要があります)
逃し管 2 (逃し弁用)	沸かし上げ中に膨張水を排出します。(必ず接続する必要があります)
排水口	フレキ管等を接続してタンク内の水を排出する時に使用します。

仕様一覧

型 番		ES-80DW2B (R/L)
定 格	電 圧	単相 200V
	消費電力	3.1kW
貯湯量		80 リットル
沸き上がり温度		約 65 ～ 95℃ (工場出荷時 95℃設定)
給湯方式		先止式
給水圧力		0.1 ～ 0.5MPa
最高使用圧力		0.1MPa
給湯、排水接続口径		G1/2 (15A)
給水接続口径		R1/2 (15A)
使用水温		0 (但し凍結のないこと) ～ 40℃ 以下
周囲温度		0 (但し凍結のないこと) ～ 40℃
湿度		10 ～ 60% 以下 (但し結露のないこと)
据付方式		床置き式
据付寸法W×D×H (mm)		540 × 560 × 700
満水質量		約 99kg
設置場所		屋 内
主要部品	ヒーター	シーズヒーター (SUS316L)
	減圧弁	設定圧力 80kPa
	逃し弁	設定圧力 97kPa
	間欠エア抜き弁	定時開放
	自動混合弁	設定温度 約 45℃ (30 ～ 50℃可変)
	電源コード	1.0m (電源プラグアース極付)
電源プラグ	プラグ形状／許容量	 引掛形 接地 2P 250V 20A
	対応コンセント (パナソニック電工品番)	WF2520B/W、WK2520B/W
安全装置	空焚、過昇温防止	バイメタル式
	温度センサー異常検出	電子制御式
	間欠エア抜き弁異常検出	バイメタル式

※沸き上がり時間の目安はP.26を参照してください。

共通項目

MEMO

工事要領

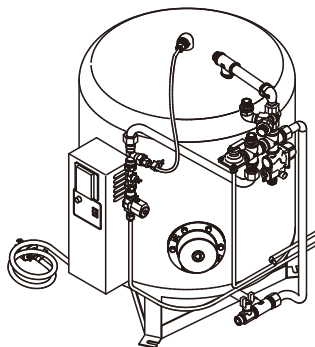
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

ES-80DW2B 本体



工事要領、取扱説明書× 1
(この冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)



省エネ温調タイマー取扱説明書× 1
(工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)

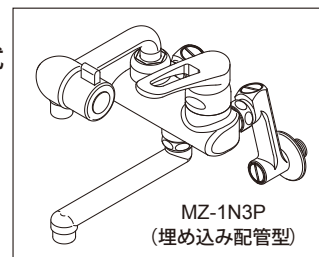
【お客様にてご手配ください】

お客様手配品 (必ず事前にご用意ください。)

- ①熱湯栓および混合水栓・・・出湯するため必要です。
- ②止水栓・・・・・・・・・・・・・排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。
- ③漏電ブレーカ・・・・・・・・・・万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
- ④アンカーボルト・・・・・・・・・・給湯器を取り付ける際に必要です。(3本)
- ⑤袋ナット、ユニオン・・・・・・配管を取り外せるように施工するために必要です。
- ⑥ステンレスフレキ管・・・・・・配管を取り外せるように施工するために必要です。
- ⑦給水、給湯管・・・・・・・・・・給湯器と接続するために必要です。
- ⑧パッキン、シールテープ・・・・配管接続部分から漏水させないために必要です。
パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。
ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。
- ⑨排水用フレキ管・・・・・・・・・・タンクから排水するために必要です。

関連商品 (→ P.13 ~ 14 『標準配管図』 参照)

- ⑨ 接続口キャップ・・・ 接続口を使用しない場合には、砲金製またはステンレス製のキャップをご用意ください。
- ⑩ ブローキャッチャー・・・ 簡単な工事で設置可能な膨張水排出装置です。
※ BCH-Mタイプをお使いいただく場合は、型番「BCH-5M」をお求めください。
- ⑪ まぜまぜP・・・・・・ ES-DWシリーズ専用の熱湯専用給湯口がついたワンレバー式混合水栓。埋め込み配管型(型式 MZ-1N3P)と立ち上がり配管型(型式 MZ-3N3P)がございます。
- ⑫ NT-1、KG-2・・・・・・ お湯使用のために設計された熱湯専用栓(NT-1)と混合水栓(KG-2)。



2. 設置場所の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
凍結対策	冬季にも凍結しない場所ですか？ 冬季に凍結する場所の場合、保温工事が必要になります。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	☐
取付床面	水平な床面ですか？ 水平でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量に耐えられる床面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
配管距離	混合水栓までの距離が2m以内に収まる場所ですか？ 放熱ロスを防ぐため、給湯配管は最長でも2m以内におさえてください。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1～0.5MPaの範囲内ですか？ 給湯器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。	☐

ES-DW2B型の離隔距離

この給湯器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

消防法 基準適合 組込形	
場所	離隔距離 (cm)
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

施工する

1. 設置工事

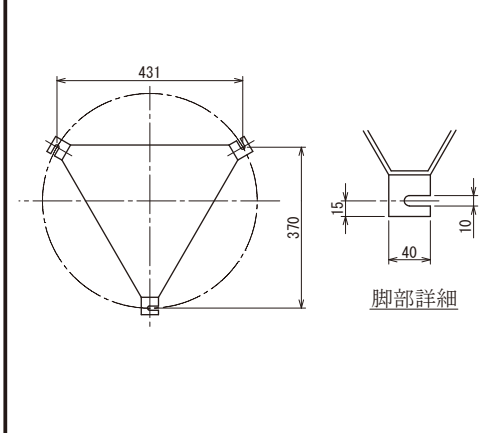
⚠ 警告	
	屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。
	湿気の多い場所や浴室には設置、使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。

⚠ 注意	
	床面に防水、排水処理を施してください。 水漏れが起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	給湯器の満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。 故障の原因となります。

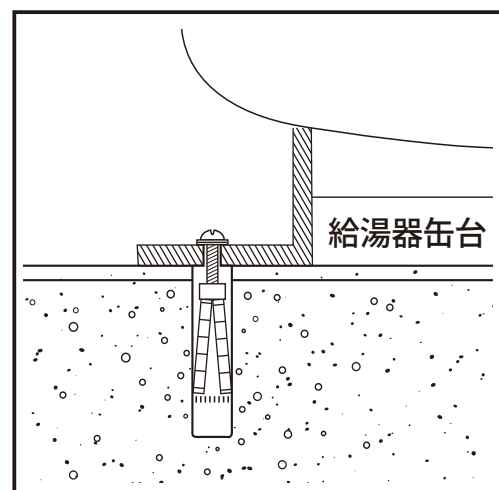
電気給湯器の設置

- ① 給湯器を取り付ける位置を決定し、取付ビス位置に印をつけます。

【本体固定寸法図】



- ② 印をつけた位置 3ヶ所に下穴を開け、アンカーボルト（お客様手配品）でしっかり固定してください。



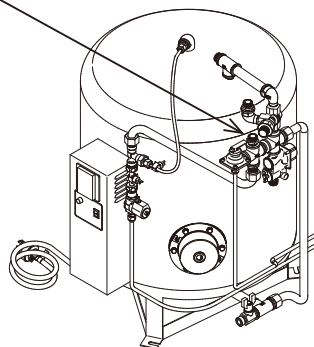
2. 配管工事

⚠注意	
!	給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	逃し管はかならず下り勾配で取り付けてください。 膨張水が逆流するおそれがあります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作や故障の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処理を施してください。 タンクや配管が破損して、やけどしたり漏水するおそれがあります。



- ・湯切れを避けるため、給湯口数(給湯栓数)は給湯器の給湯能力に見合った個数にしてください。
- ・膨張水の処理は当社の膨張水排出装置ブローキャッチャーもしくは間接排水にて行ってください。
- ・放熱ロスを防ぐため、給湯配管は最長でも2m以内におさえ、保温工事を行ってください。
- ・袋ナットやユニオン(お客様手配品)を使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また、配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープ(お客様手配品)を使用してください。
- ・混合水栓への給水は給湯器の混合栓給水口からお取りください。水道を直接接続すると、湯水の圧力が異なるためスムーズに混合出来ません。

混合栓給水口

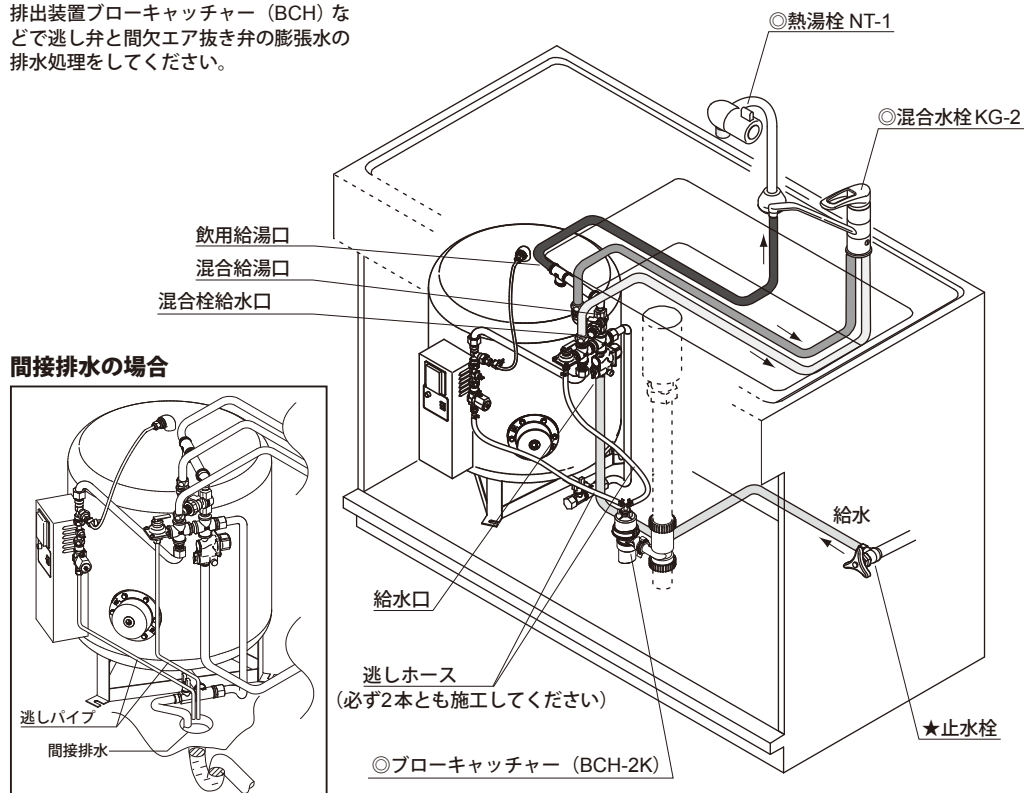


- ①給水一次側にお客様手配品の止水栓を取り付けてください。
- ②各配管接続口についているキャップを取り外し、P.13～14の配管参考図をご参照の上、配管を行ってください。

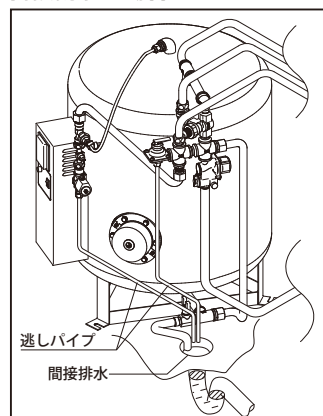
標準配管図

ES-80DW2BR+ 専用熱湯栓 NT-1+ 混合水栓 KG-2+ 膨張水排出装置ブローキャッチャー (BCH-2K)

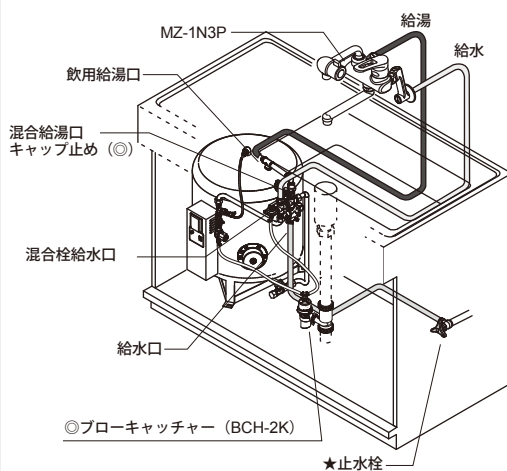
専用間接排水口(トラップ付)を設けない場合は右図のように、必ず当社の膨張水排出装置ブローキャッチャー (BCH) などで逃し弁と間欠エア抜き弁の膨張水の排水処理をしてください。



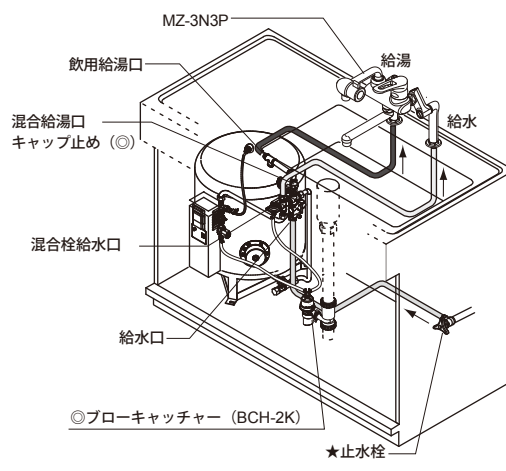
間接排水の場合



ES-80DW2BR+MZ-1N3P(埋込み配管型)



ES-80DW2BR+MZ-3N3P(立ち上がり配管型)

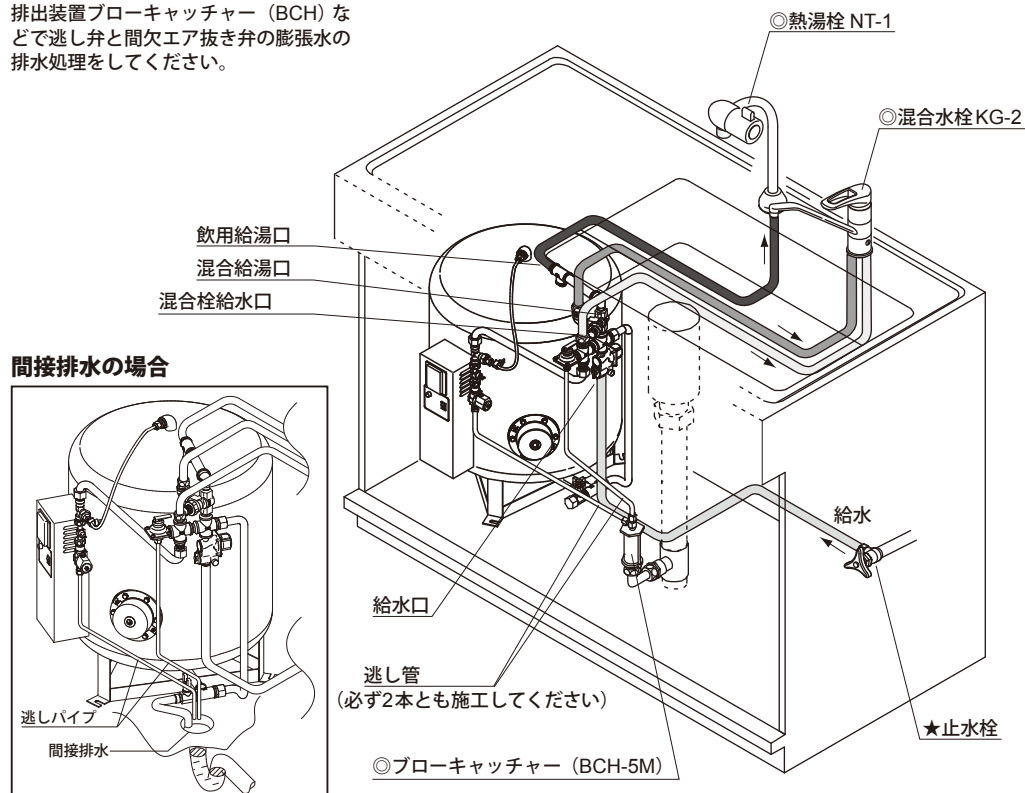


★お客様手配品、◎関連商品

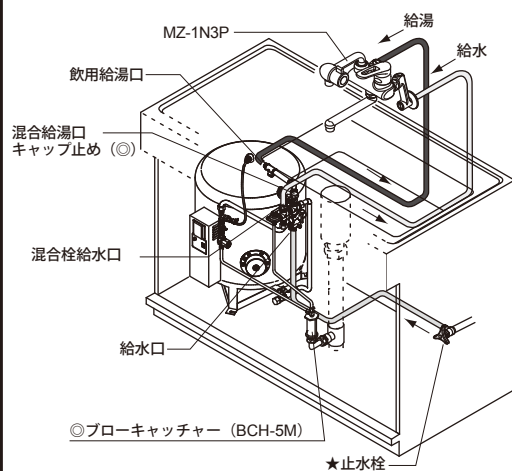
標準配管図

ES-80DW2BR+専用熱湯栓 NT-1+混合水栓 KG-2+膨張水排出装置ブローキャッチャー (BCH-5M)

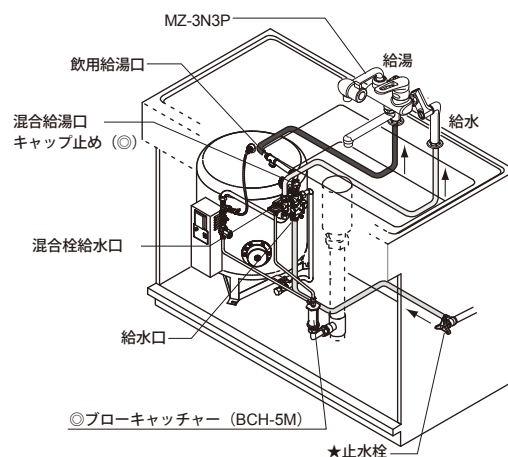
専用間接排水口(トラップ付)を設けない場合は右図のように、必ず当社の膨張水排出装置ブローキャッチャー (BCH) などで逃し弁と間欠エア抜き弁の膨張水の排水処理をしてください。



ES-80DW2BR+MZ-1N3P(埋込み配管型)



ES-80DW2BR+MZ-3N3P(立ち上がり配管型)



★お客様手配品、◎関連商品

3. 電気工事

⚠警告	
	アース (D種接地) 工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
	電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電の時に感電するおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、ケガの原因となります。

①電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

4. 施工後の確認

チェックリスト

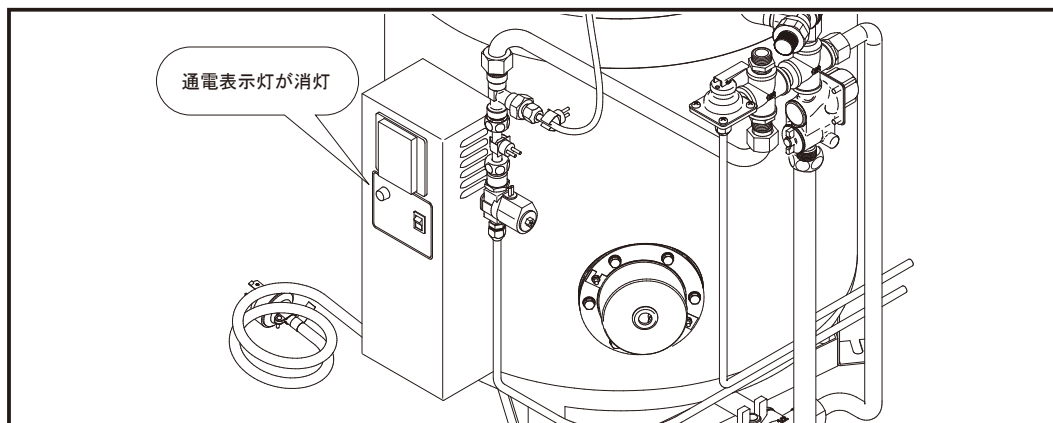
項 目	チェック内容	チェック
設置工事	給湯器にがたつきはありませんか？	☐
	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
配管工事	給水管や給湯管の接続部分にゆるみはありませんか？	☐
	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	☐
電気工事	D種接地工事は正しく行われていますか？	☐

試運転を行う

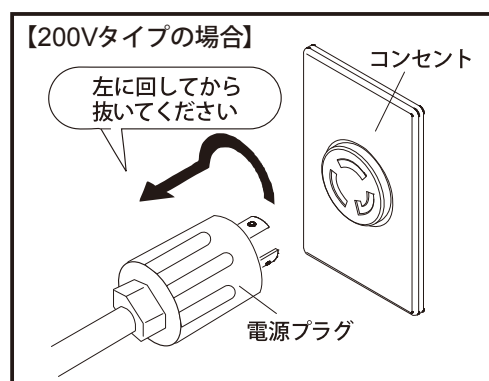
⚠注意	
⊘	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
!	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。

1. 給湯器に給水する

- ① 運転スイッチがOFF になっていること確認してください。
通電表示灯が消灯している状態です。



- ② 電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。

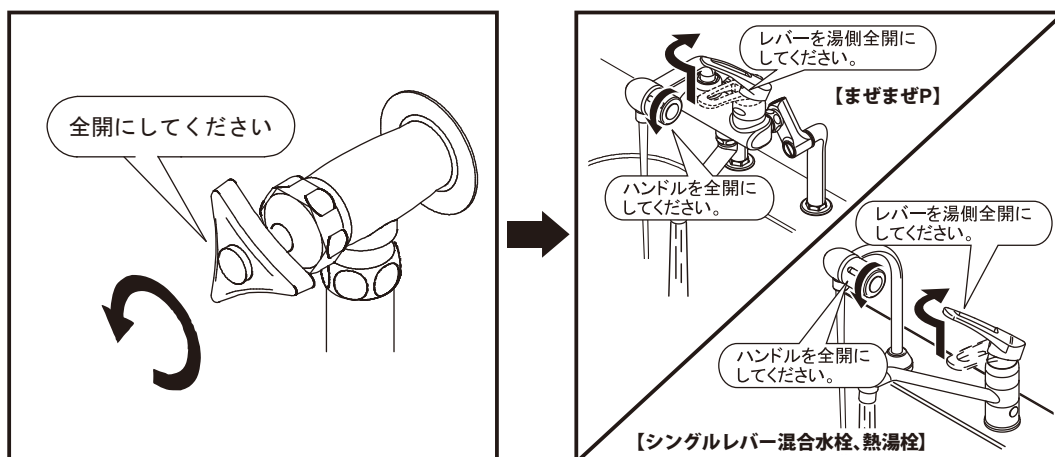


工事要領

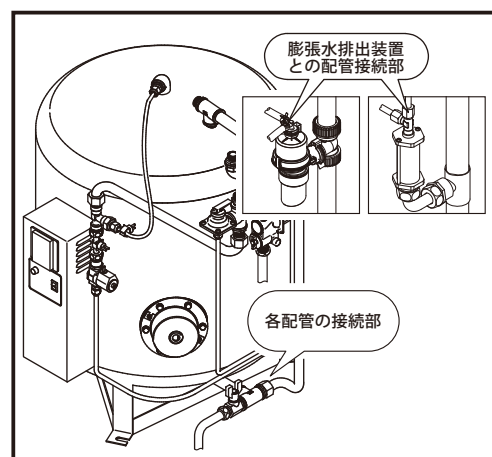
試運転を行う

- ③ 止水栓を全開にしてから熱湯栓、混合水栓の湯側を全開にし、水の量が安定するまで流し続けます。(給湯器のタンクが満水になるまでは空気を含んだ水が出ます)

水の量が安定したら配管の汚れをタンク内から排出するため、そのまましばらく流し続けてください。

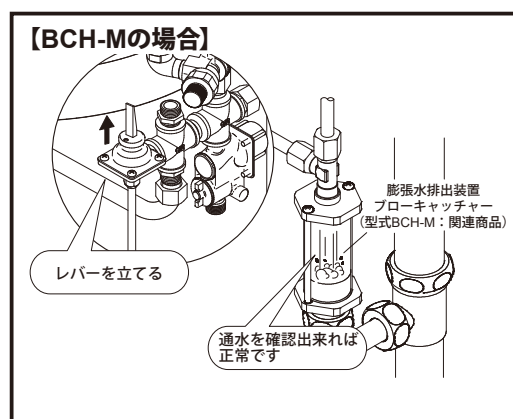
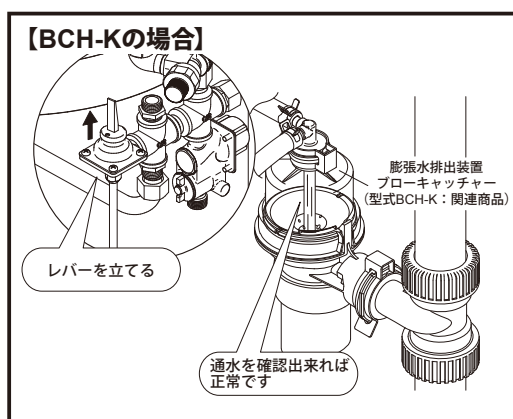


- ④ 混合水栓を閉め、配管接続部からの漏水がないか確認します。



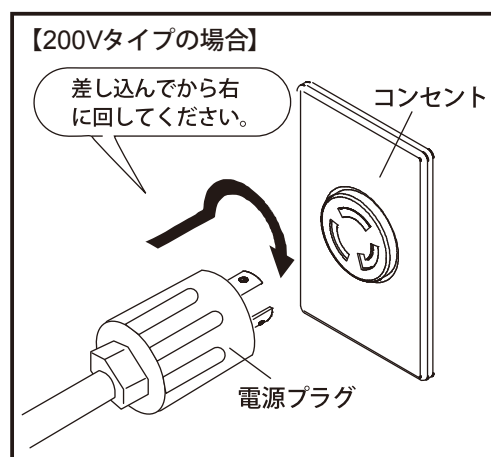
- ⑤ 逃し弁テストレバーを立てて、逃し弁が正しく作動するか確認します。

確認後はレバーを必ず元に戻してください。(逃し弁から水が排出され続け、設定温度に沸かし上げることができません。)



2. 試運転を行う

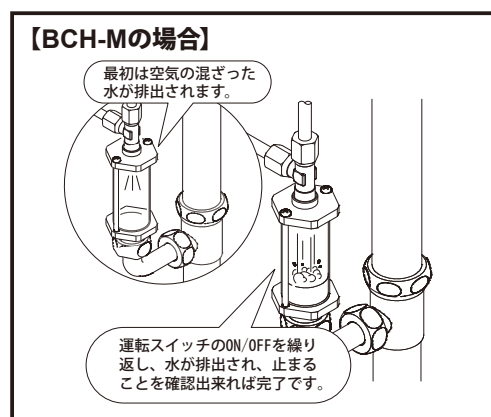
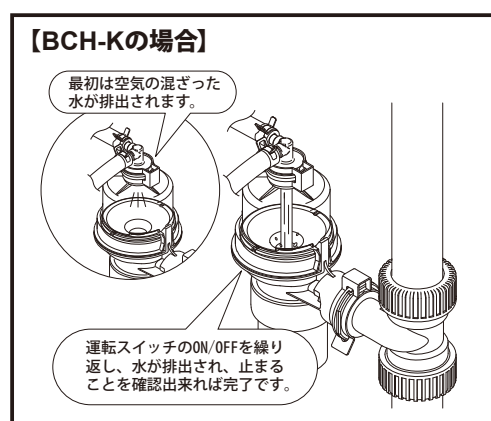
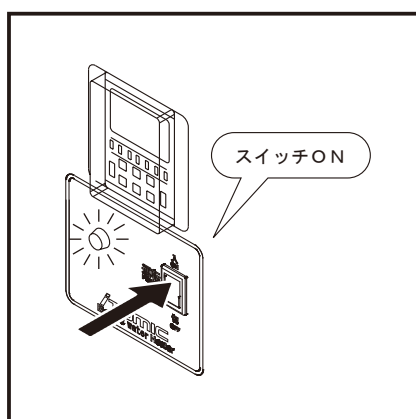
- ① 電源プラグをコンセントに差し込み、一次側に設置した漏電ブレーカをONにします。



- ② 運転スイッチをONにしてください。

通電表示灯が点灯すると同時に間欠エア抜き弁が1秒間作動し、タンク内に溜まった空気が排出されます。

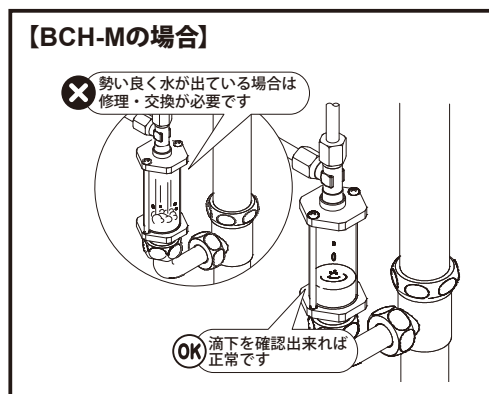
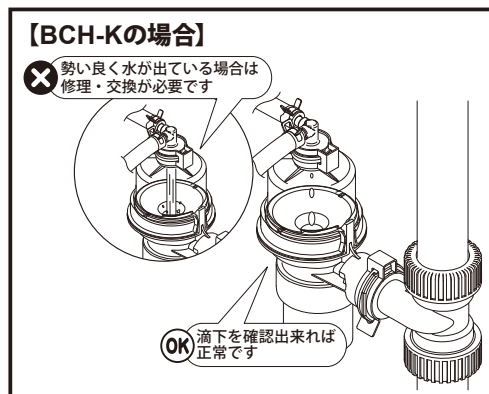
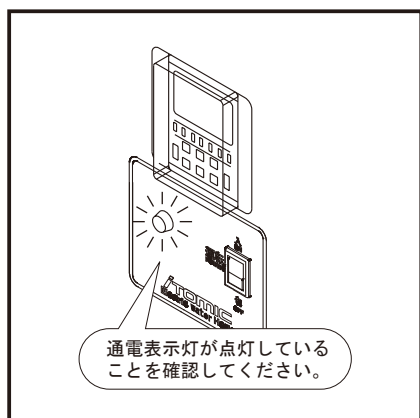
空気を完全に抜くために一度運転スイッチをOFFにして、5秒以上待ってから再びONにします。空気の混ざらない水が排出され、止まることを確認できるまでこれを繰り返してください。(4～5回程度)



工事要領

試運転を行う

- ③ 通電表示灯が点灯し、しばらくして膨張水が排出されるのを確認してください。
設定温度に沸き上がると通電表示灯は消灯します。



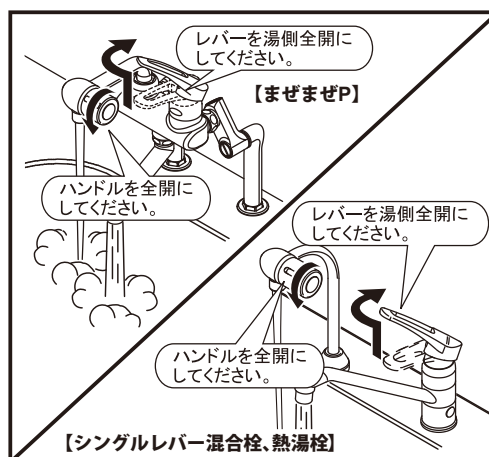
- ⑤ 沸き上がった後、熱湯栓、混合水栓からお湯が出れば正常です。



確認の際には熱湯にご注意ください。
やけどの危険があります。

温度設定やタイマー運転に関しては製品に付属している『省エネ温調タイマー』取扱説明書をご参照ください。

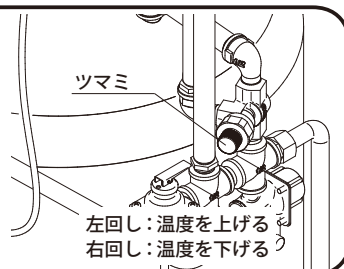
- ⑥ 確認後、熱湯栓、混合水栓を閉めてください。



**混合給湯口からの湯温を調節するには？
(シングルレバー混合栓のみ)**



- 混合給湯口からのお湯が熱い、もしくはぬるい場合は自動混合弁温調ツマミをコインなどで回すことで混合給湯口から出るお湯の温度を30℃～50℃に変えることが出来ます。



3. 試運転後の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
漏 水	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
電 圧	定格電圧± 10% 以内ですか？	☐
ヒーター絶縁抵抗	1MΩ以上ありますか？	☐
ストレーナー	ストレーナーの中にゴミ詰まりはないですか？（→ P.36 参照）	☐
給 湯	熱湯栓、混合水栓を開くとお湯が出ますか？	☐

以上で施工終了です。

工事要領

MEMO

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

⚠ 警告	
	設置時およびリセット操作時以外は電装ケースを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないで ください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠ 注意	
	給湯器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。
	定期的に間欠エア抜き弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。
	貯湯温度が 80℃未満の場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

1. 使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

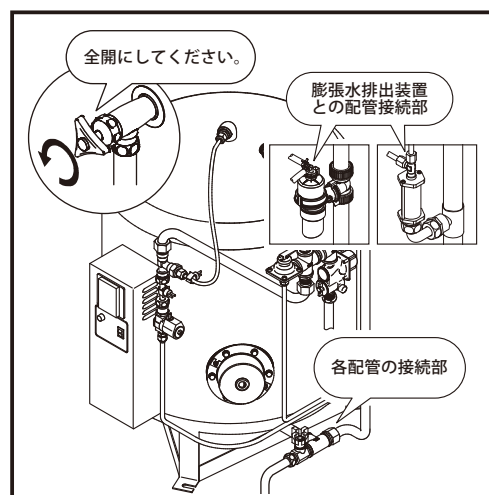
チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	☐
	本体の上には物などを載せていませんか？	☐
	逃し弁が吹き出していませんか？（→ P.30『逃し弁の動作確認』参照）	☐

2. 運転する

⚠注意	
⊘	給湯器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
!	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。

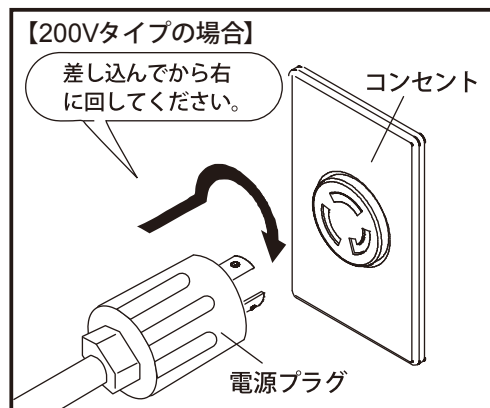
- ① 止水栓を開いてタンクに給水し、給湯器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。



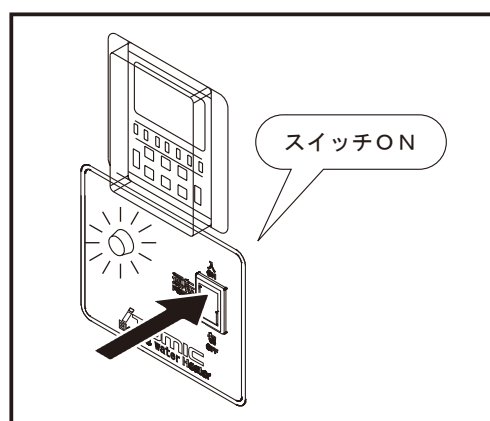
取扱説明

使用方法

- ② 電源プラグをコンセントに差し込み、一次側に設置した漏電ブレーカをONにします。



- ③ 運転スイッチをONにしてください。



運転スイッチをONにすると、初期設定の自動運転【おすすめプログラム】(月、火、水、木、金、土の6:30～18:30に運転)を始めます。

沸かし上げ温度変更や運転時間、曜日を変更したい場合は、製品に付属の省エネ温調タイマー取扱説明書をご参照の上、お好みの運転設定を行ってください。

運転開始から沸かし上げにかかる時間はP.26『沸き上がり時間の目安』をご参照ください。

沸き上がり時間の目安

項目 型番	定格電圧	貯湯量(ℓ)	標準ヒーター 容量 (kW)	沸き上がり時間※1			使用範囲の 目安(人)※2
				給水温			
				5℃	15℃	25℃	
ES-80DW2B	単相 200 V	80	3.1	163分	145分	127分	約 640

※1: 沸き上がり時間の算出: 沸き上がり温度 95℃の場合。

※2: 使用範囲の目安: 飲用可能温度を80℃とし、100cc/杯として算出。

3. 出湯する

⚠警告



給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意



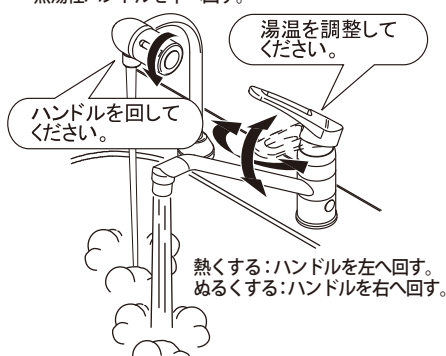
貯湯温度が 80℃未満の場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。
健康を害するおそれがあります。

満水にしてから通電してください。
故障の原因となります。

水を先に出してからお湯を出して、湯温を調節しながらお使いください。

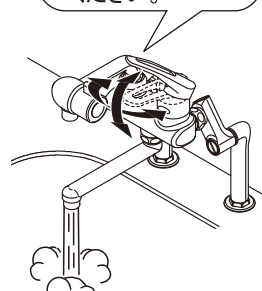
【シングルレバー混合栓、熱湯栓の場合】

熱湯を出す:
熱湯栓ハンドルを下へ回す。



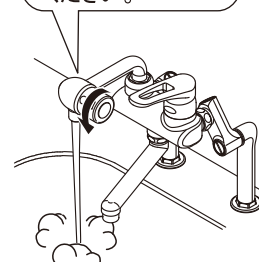
【なぜなぜPの場合】

湯温を調整してください。



熱くする: ハンドルを左へ回す。
ぬるくする: ハンドルを右へ回す

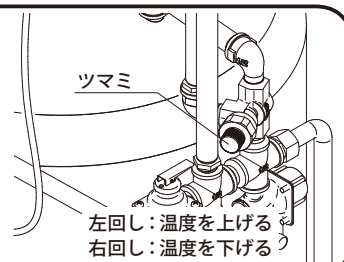
ハンドルを回してください。



熱湯を出す:
熱湯用ハンドルを下へ回す。

混合給湯口からの湯温を調節するには？
(シングルレバー混合栓のみ)

- 混合給湯口からのお湯が熱い、もしくはぬるい場合は自動混合弁温調ツマミをコインなどで回すことで混合給湯口から出るお湯の温度を30℃～50℃に変えることができます。



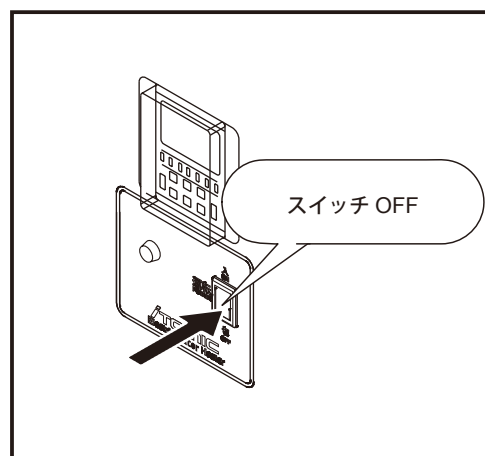
長期間使用しないときは(排水の方法)

⚠警告	
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

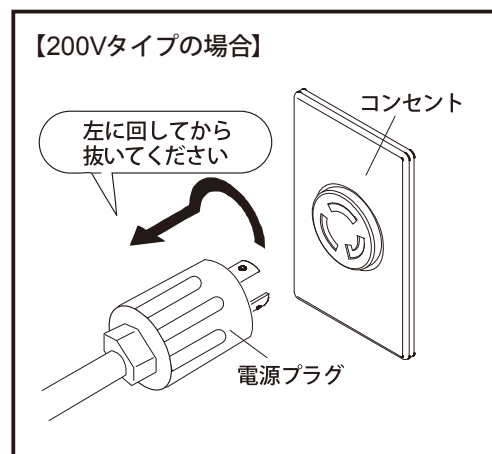
⚠注意	
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

長期間、給湯器をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

①運転スイッチをOFFにします。

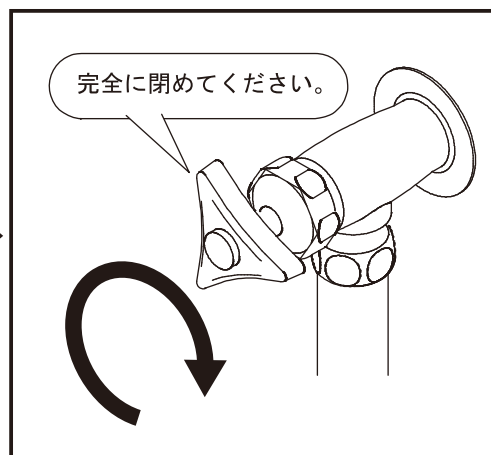
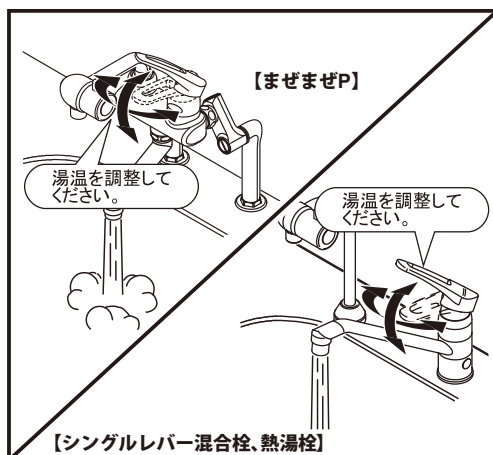


②電源プラグをコンセントから抜きます。



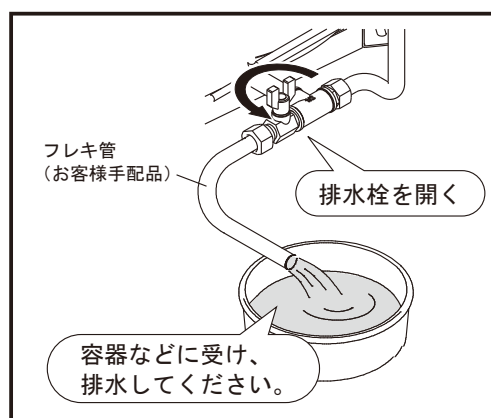
長期間使用しないときは(排水の方法)

- ③排水管保護のため、湯の温度を調節しぬるい温度で排水を行ってください。タンク内が完全に水になるまで出し切り、止水栓を完全に閉めます。



- ④排水を受ける容器と、フレキ管を用意します。
フレキ管を排水口に接続し、排水栓を開いて排水します。(排水栓接続口：G1/2)

- ⑤排水後は必ず排水栓を閉めて、混合栓を閉めてください。



※上記の方法で水が抜けにくい場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。

お願い

長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから外しておいてください。

タンクが空のときには運転スイッチを ON にしないでください。
故障の原因となります。

長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。
凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

お手入れの方法

⚠警告	
❗	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電の時に感電するおそれがあります。
⊘	設置時およびリセット操作以外は電装ケースを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
🚫	逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
❗	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。
❗	定期的に間欠エア抜き弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。

保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
管理技術者の方のみ 電圧の測定	定格電圧の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。 過電圧はヒーター断線の原因となります。また、低電圧の場合は能力が低下します。	1回/月
管理技術者の方のみ 電流値の測定	定格電流の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。 使用開始時と再使用時には特にご注意ください。	
管理技術者の方のみ ヒーター 絶縁抵抗測定	絶縁抵抗計(500Vメガー)にて測定、1MΩ以上あることを確認してください。 ※破損するので操作回路には絶縁抵抗測定をしないでください。	
コードおよび プラグの点検	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。 トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	
重要 逃し弁の 動作点検	逃し弁用の逃し管または逃しホースから常時水が出ていないか確認してください。(P.30『逃し弁の動作確認』参照)	
重要 間欠エア抜き 弁の動作点検	間欠エア抜き弁用の逃し管または逃しホースから常時湯が出ていないか確認してください。また、運転スイッチを一度OFFにしてから再びONし、湯が排出されることを確認してください。(P.32『間欠エア抜き弁の動作確認』参照)	1回/日
漏水全般につ いての点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	
タンク内部の 清 掃	給水栓および給湯栓を全開にしてタンク内の水を強制的に入れ替えてください。	
		1回/年

注) 長期間使用しない場合は凍結によるタンクの破損や水質変化防止のため、P.27『長期間使用しないときは(排水の方法)』をご参照の上、タンク内の湯を排水してください。

逃し弁の動作確認

⚠警告



逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。
やけどのおそれがあります。

給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないで
ください。
やけどのおそれがあります。

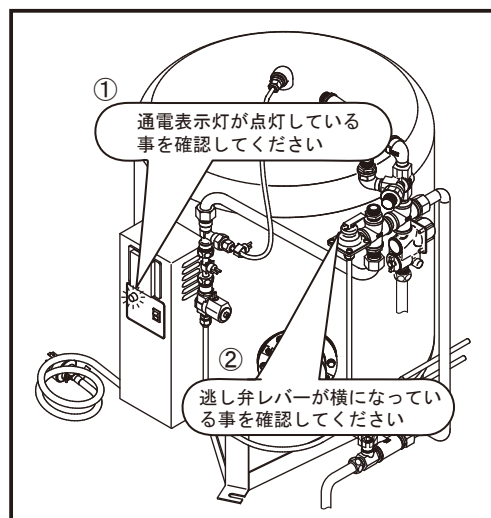
⚠注意



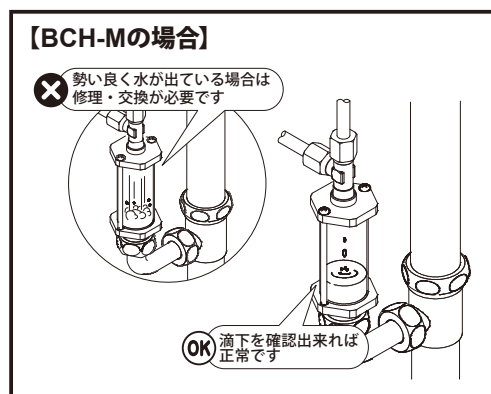
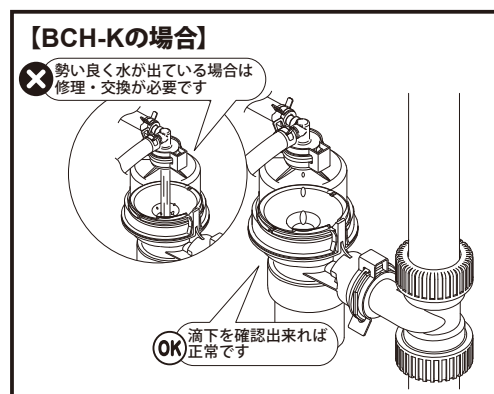
定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。
万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。

逃し弁が作動しなくなるとタンクの破損や事故の原因となります。定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。

- ①通電表示灯が点灯していることを確認してください。
- ②逃し弁テストレバーが横になっていることを確認してください。



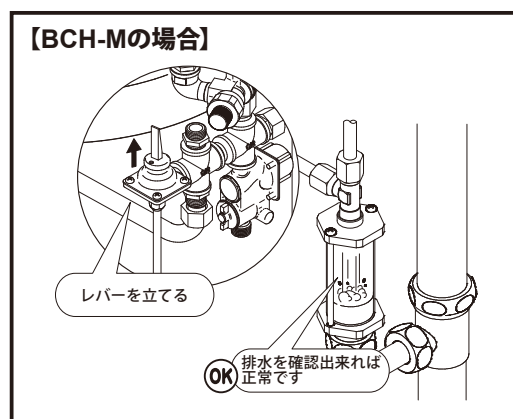
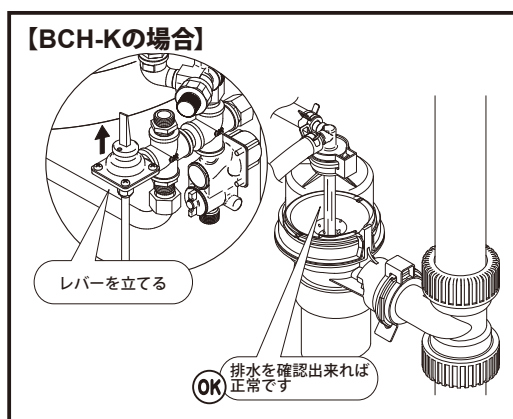
- ③間接排水が正常に行われていることを確認してください。



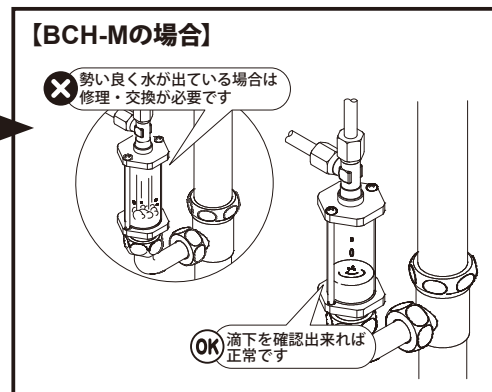
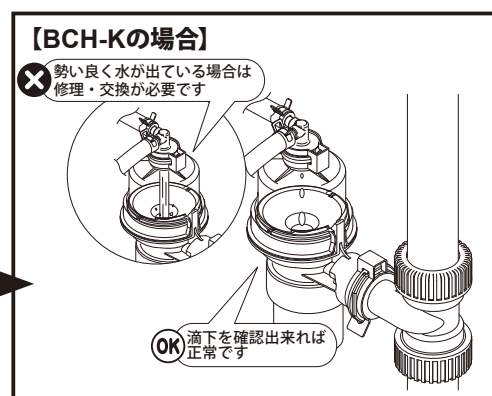
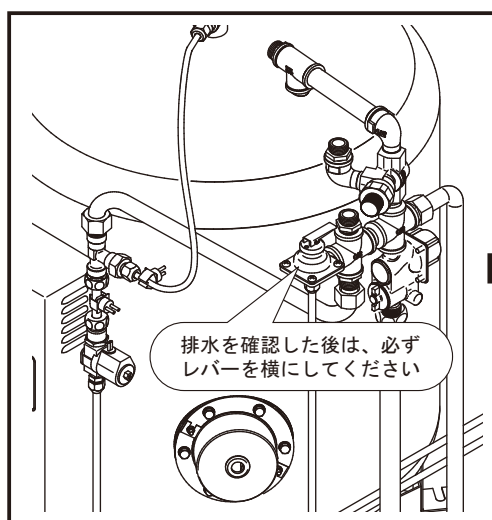
取扱説明

お手入れの方法

- ② 逃し弁テストレバーを立て、排水を確認してください。正常に排水しない場合は故障ですので、アフターサービス窓口までご連絡ください。



- ③ 排水が確認できたら必ず逃し弁テストレバーを横にして水が止まる事を確認してください。しばらくして滴下に戻れば正常です。
(レバーを立てたままの場合、逃し弁から水が排出され続けて設定温度に沸かし上げることができません。)



逃し弁の内部にゴミが付着すると水が流れ続ける場合があります。そのような時は逃し弁レバーを立て、しばらく水を流した後で再度確認を行ってください

間欠エア抜き弁の動作確認

⚠ 警告



給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

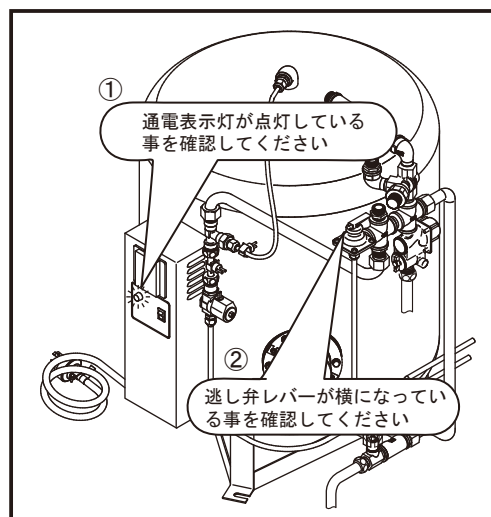
⚠ 注意



定期的に関欠エア抜き弁の動作確認を行ってください。
万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。

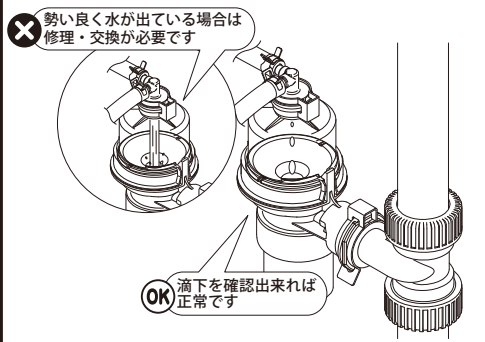
間欠エア抜き弁が作動しなくなるとタンク内に溜まった空気が給湯の際に吹き出して、やけどをするおそれがあります。定期的に関欠エア抜き弁の動作確認を行ってください。

- ① 通電表示灯が点灯していることを確認してください。
- ② 逃し弁テストレバーが横になっていることを確認してください。

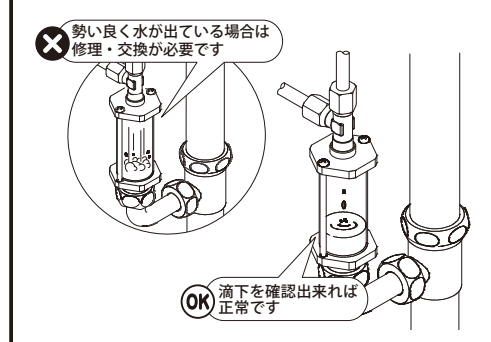


- ③ 間欠エア抜き弁用の逃し管または逃しホースから常時湯が排出されていないことを確認してください。(間欠エア抜き弁は30分に1回作動し、タンク内に溜まった空気を排出します。また通電表示灯が点灯しているときは、逃し弁用の逃し管または逃しホースから膨張水が排出されます。)

【BCH-Kの場合】



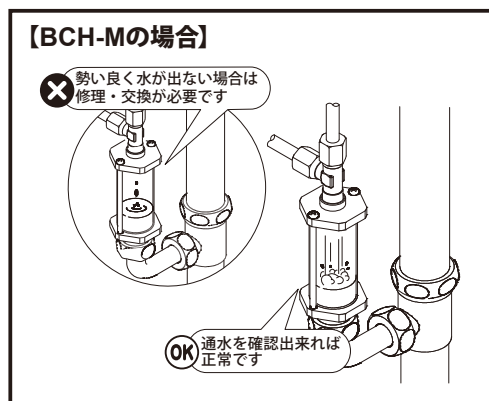
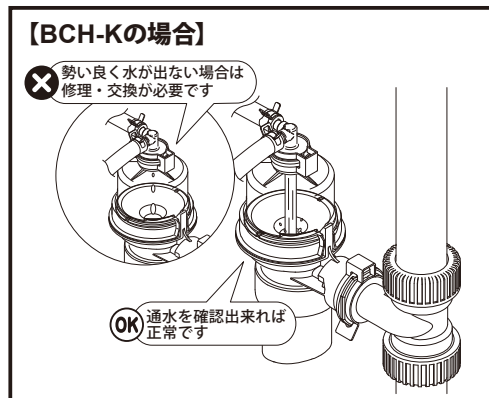
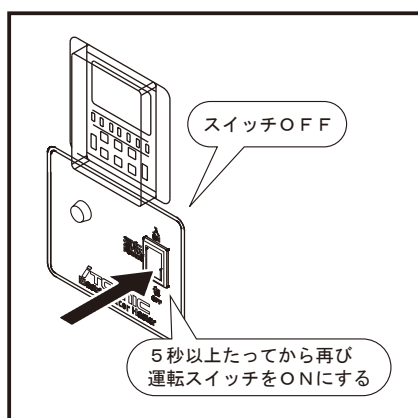
【BCH-Mの場合】



取扱説明

こんなときは

- ② 運転スイッチをOFFにしてください。5秒以上たってから再び運転スイッチをONにします。(運転スイッチをONにすると間欠エア抜き弁が作動し、湯が排出されます。)



間欠エア抜き弁の内部にゴミが付着すると湯が流れ続ける場合があります。そのような時は、運転スイッチもしくは自動運転のON / OFF 操作を1～2回※繰り返してみてください。それでも流れ続ける場合はアフターサービス窓口までご連絡ください。

※過度にON / OFF 操作を行うと故障の原因となりますのでご注意ください。

こんなときは

給湯器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。

状 況	ご確認ください	対処方法
湯が沸かない 湯にならない	一次側の漏電ブレーカがOFFになっていませんか？	一次側の漏電ブレーカをONにしてください。
	プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？	確実に差し込んである場合でも、結線部が断線していることもありますので、点検してください。
	運転スイッチがOFFになっていませんか？	運転スイッチがOFFの場合はONにしてください。
	タイマーの設定が正しく行われていますか？	タイマーの設定をご確認ください。 設定方法は、付属の『省エネ温調タイマー取扱説明書』をご参照ください。
	過昇温防止装置が作動していませんか？	本器には「空焚き検知」および「過昇温防止」（サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。 復帰するには給湯器のご使用を中止し、管理技術者の方にリセット作業をご依頼ください。 (→手順 P.38 『リセットの方法』 参照)
	電圧が誤っていませんか？	100 V の給湯器を200 V で使用するとコントローラが破壊されます。200 V の給湯器を100 V で使用することはできません。
	ヒーターの故障ではありませんか？	アフターサービス窓口までご連絡ください。
湯温が低い または 沸き上がり時間が長すぎる	間欠エア抜き弁用の逃し管から水が出続けていませんか？	一度運転スイッチをOFFにし、水が出続けるか確認してください。 運転スイッチをOFFにしても水が出続けている場合は、運転スイッチを再びONにし、間欠エア抜き弁を動作させてください。 上記の対処で… ① 水が止まった場合 間欠エア抜き弁のゴミ噛みです。 管理技術者の方にリセット作業をご依頼ください。(P.39 『リセットの方法②』 参照) ② 水が出続ける場合 間欠エア抜き弁の故障です。 アフターサービス窓口までご連絡ください。
	湯を使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	逃し弁は正常ですか？湯が逃し管から出続けてませんか？	通電時、ポタポタ出るのは正常ですが常時吹き出しているのは故障です。ゴミがかんていたり減圧弁の故障の可能性もあります。P.30 『逃し弁の動作確認』に沿って動作をご確認ください。正常に動作していない場合はアフターサービス窓口までご連絡ください。
	水温が低くありませんか？	秋から冬にかけて水温が急激に下がります。従って沸き上がり時間もかかります。→ P.26 『沸き上がり時間の目安』 参照。

取扱説明

こんなときは

状 況	ご確認ください	対処方法
混合給湯口から非常に熱い湯が出る	電気給湯器の自動混合弁が故障していませんか？	混合給湯口からの給湯温度は約 45℃です。60℃以上の温度になっている場合はただちに使用を中止し、アフターサービス窓口までご連絡ください。
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足しているのではありませんか？	止水栓が開いていない場合は開けてください。減圧弁やストレーナーに詰まりがある場合は管理技術者の方にご依頼し、取り除いてください。(→手順 P.36 『ストレーナーの清掃』参照。)
	止水栓が閉まっていますか？	閉まっていたら開けてください。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後でタンク内に配管時の油や接着剤が残っていませんか？	新設時は工事の際の切削油等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。
	長期間の休止後ではないですか？ または断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。混合栓から水を出し続けてタンク内の水を入れ替えてください。
漏水している	本体からですか？	止水栓を閉めた後、アフターサービス窓口までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	各接続部の場合は締め直してください。膨張水の処理配管(逃し管)接続部も点検してください。
給水時に給湯器本体や配管が振動音を発する	給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか、配管支持がされていないのではありませんか？	配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出ることがありますので、固定してください。フレキ管の場合は給水の配管抵抗を少なくするよう、曲げ方を工夫してください。

その他の不具合およびエラーメッセージについて

その他の不具合および操作パネルに表示されているエラーメッセージについては、製品に付属の省エネ温調タイマー取扱説明書をご参照ください。

それでも症状が改善されない場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。

ES-DW2Bに付属 【省エネ温調タイマー取扱説明書】



ストレーナーの清掃

管理技術者の方のみ

⚠警告



給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

※この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

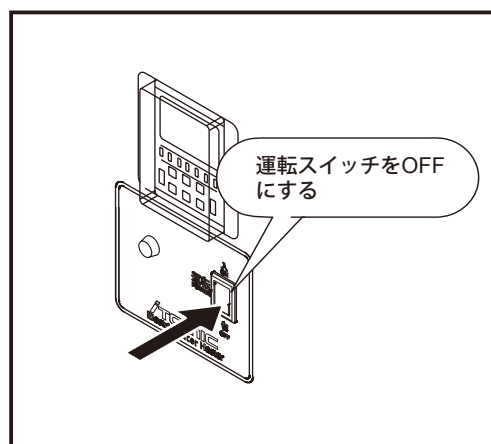
ストレーナーにゴミが詰まると混合栓から出る湯の量が悪くなります。定期的に清掃を行ってください。

清掃前の準備

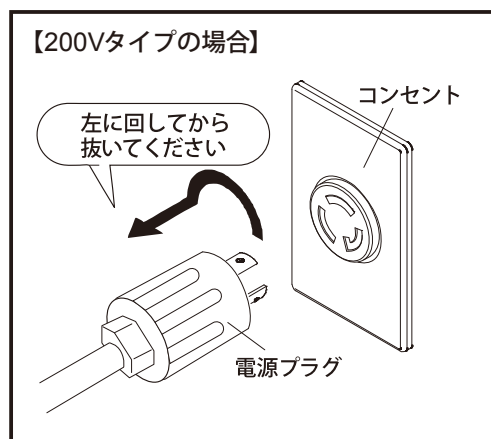
P.27 『長期間使用しないときは(排水の方法)』をご参照の上、排水を行ってください。

清掃を行う

①運転スイッチをOFFにします。



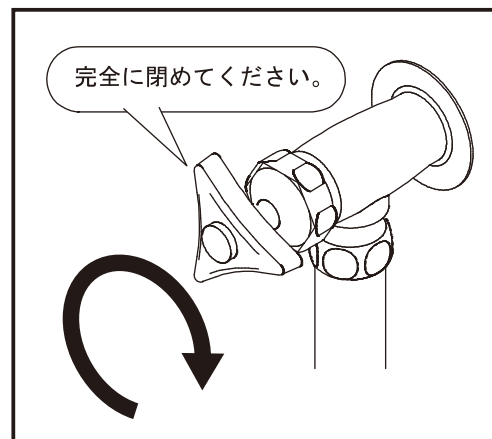
②電源プラグをコンセントから抜きます。



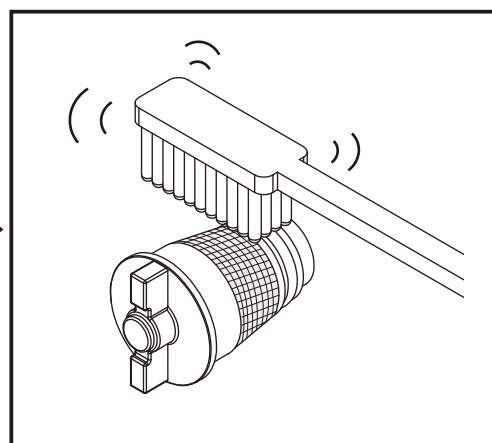
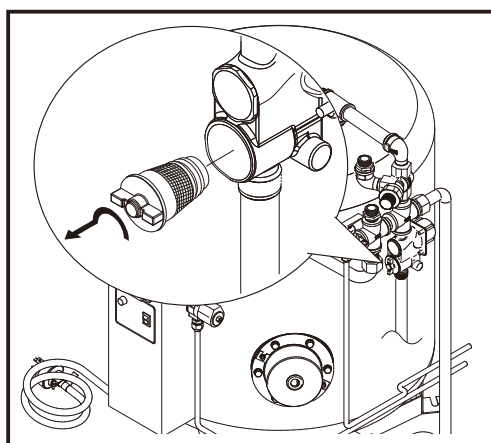
取扱説明

こんなときは

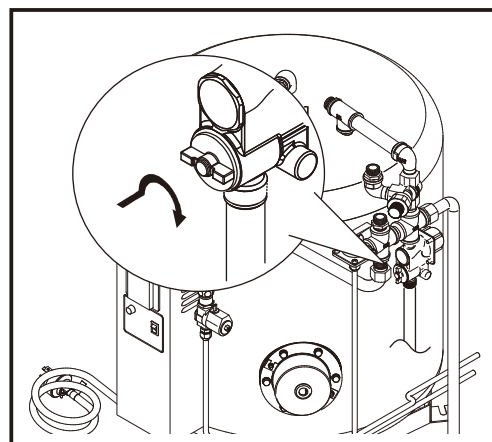
- ③止水栓を閉めます。



- ④減圧弁についているストレーナーを反時計回りに回して引き抜き、フィルター部分に詰まったゴミをナイロンブラシなどで取り除きます。
(注: ストレーナーを外した時に少量の水が出ますので水を受けるものを用意してください。)



- ⑤ストレーナーを取り外した時と逆の要領で取り付けた後、給水を行い、漏水がないか確認してください。漏水があった場合は再度取り付け直してください。(給水方法はP.16『給湯器に給水する』参照)



リセットの方法①

管理技術者の方のみ

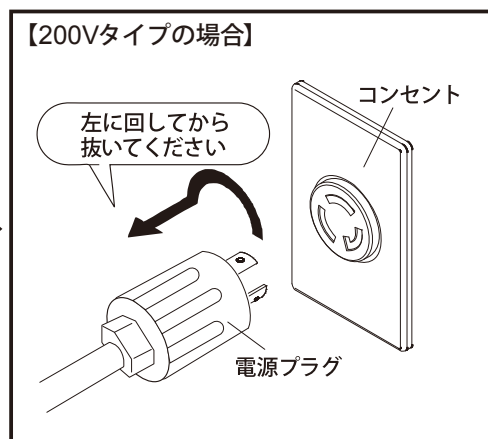
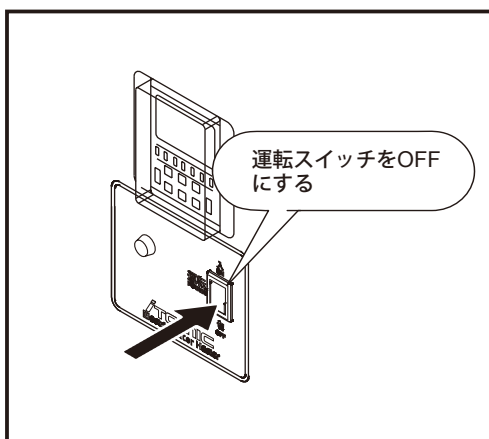
⚠ 警告

	設置時、リセット操作時以外は電装ケースを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

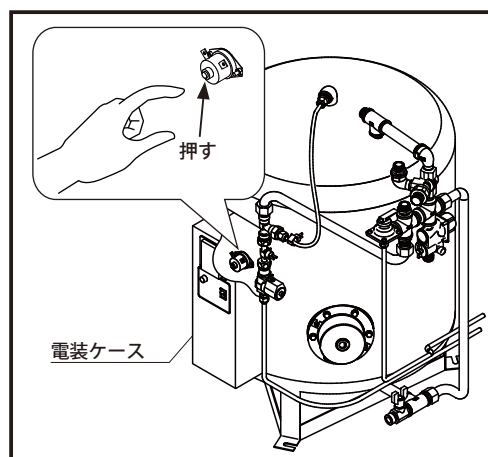
※この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

ES-DW2Bには「空焚き検知」および「過昇温防止」（サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。何らかの理由で作動し運転が停止した場合には、下記の手順でリセット操作を行ってください。

①運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。



②原因を確認した上で、左右側面 2箇所ずつネジ止めされている電装ケースをゆっくり外し、十分に温度が下がってから給湯器内部の右図の場所にある空焚、過昇温リセットボタンを押してください。



リセットの方法②

管理技術者の方のみ

⚠ 警告

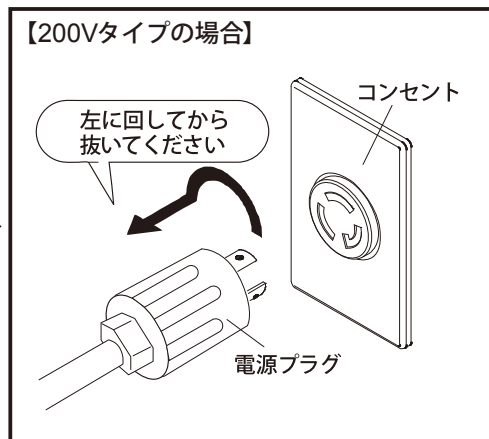
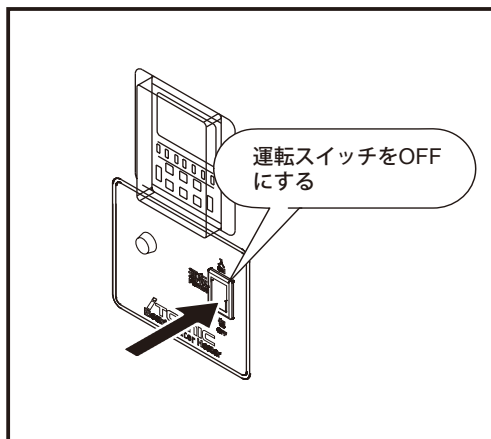


給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

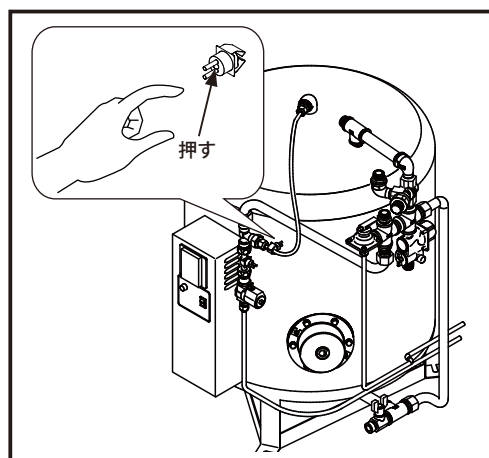
※この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

ES-DW2Bには「空焚き検知」および「過昇温防止」（サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。何らかの理由で作動し運転が停止した場合には、下記の手順でリセット操作を行ってください。

①運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。



②原因を確認した上で、十分に温度が下がってから右図の場所にある過昇温リセットボタンを押してください。



アフターサービス

消耗品の定期交換について

下記記載の部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。(下表参照) 交換(有償)、購入のご依頼はアフターサービス窓口までご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
逃し弁	設置、交換日より5年	長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。(※水道水中のミネラル分が固着したもの。)
減圧弁		
間欠エア抜き弁		
ヒーター		
自動混合弁		

※上記以外でもバッキン類や電気部品交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.41の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

保証票		電気温水器
型番	貯湯量 L	JET
満水質量 約 kg	最高使用圧力 0.1MPa	
電 源 屋内用		
周波数 50/60Hz	消費電力	JET
保証期間 納入後3年間		
製造番号		
株式会社日本イトムック		

アフターサービス窓口

TEL

〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日(営業時間:8:45 ~ 17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03(3621)2161 関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所・地区販売会社にお問い合わせください。

インターネット

〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX 修理受付窓口〉03-3621-2163

FAXで修理のご依頼を受け付け致します。P.41の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所・地区販売会社へお送りください。(裏表紙に記載)

アフターサービス

故障状況シート			
貴 社 名		ご 担 当 者 名	
ご 住 所			
T E L		F A X	
製 品 型 番	ES- DW2B (3)		
電 源、電 力		製 造 番 号	
設 置 場 所		保 証 期 限	
状 態			

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - （1）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - （2）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - （3）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - （4）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - （5）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - （6）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - （7）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - （8）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - （9）電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
 - （12）火災・爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
 - （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様で自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧ください。か、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 日本イトミック

本社・営業本部 TEL: 03 (3621) 2121 (代)
FAX: 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
ホームページ <http://www.itomic.co.jp/>

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)



0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

- ※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
- ※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。
- ※PHS、IP電話からはご利用になれません。関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所もしくは地区販売会社まで直接お問い合わせください。

関東地区お問い合わせ TEL: 03 (3621) 2161
FAX: 03 (3621) 2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル部 TEL: 03 (5860) 4992
FAX: 03 (3621) 2163

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

《担当エリアと営業所・地区販売会社》

北海道地区 TEL: 011 (615) 6681
(株)北海道イトミック FAX: 011 (615) 7004
〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)
担当エリア: 北海道地区全域

東北・新潟地区 TEL: 022 (773) 6161
(株)東北イトミック FAX: 022 (773) 6213
〒981-3125 宮城県仙台市泉区みずほ台 4-3
担当エリア: 青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/新潟県

関東地区 TEL: 03 (3621) 2121
(株)日本イトミック FAX: 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
担当エリア: 東京都/千葉県/埼玉県/茨城県/栃木県/群馬県/山梨県/神奈川県/静岡県

中部・北陸地区 TEL: 052 (222) 2561
(株)日本イトミック 中部営業所 FAX: 052 (222) 2559
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)
担当エリア: 富山県/石川県/福井県/岐阜県/愛知県/三重県/長野県

近畿地区 TEL: 06 (6226) 0800
(株)日本イトミック 関西営業所 FAX: 06 (6226) 0802
〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町 3-4-7 (KC ビル 9F)
担当エリア: 大阪府/京都府/滋賀県/和歌山県/奈良県/兵庫県

中国・四国地区 TEL: 082 (240) 1361
(株)日本イトミック 中国営業所 FAX: 082 (240) 1363
〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)
担当エリア: 鳥取県/島根県/岡山県/広島県/山口県/香川県/徳島県/愛媛県/高知県

九州・沖縄地区 TEL: 092 (481) 3911
(株)日本イトミック 九州営業所 FAX: 092 (481) 3930
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア: 福岡県/佐賀県/長崎県/大分県/熊本県/宮崎県/鹿児島県/沖縄県